

+ **積立** 診断結果 + + +

あなたの診断結果は… 

合計点	診断結果	特徴
<input checked="" type="checkbox"/> 4点以下	<b>安定型</b>	リスクを抑え、安定的な収益を目指します。債券への投資を中心とするファンドでの運用が向いています。
<input checked="" type="checkbox"/> 5~6点	<b>中間型</b> [安定~中間]	安定した収益に加え、資産の成長による収益を目指します。債券の利子に加え、株式やREITからの収益が出るバランスファンドなどが向いています。
<input checked="" type="checkbox"/> 7~9点	<b>中間型</b> [中間~積極]	多少のリスクを許容し、資産の成長による収益を目指します。株式やREITの投資比率が高いバランスファンドや海外資産で運用するファンドが向いています。
<input checked="" type="checkbox"/> 10点以上	<b>積極型</b>	リスクをとった攻めの運用でより高い収益確保を目指します。主に国内外の株式・REITで運用するファンドでの運用が向いています。

●投資信託は、貯金等ではありません。●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。●JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、信託期間中に中途換金できないものや、特定日にしか換金できないものがあります。●投資信託のご購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には次のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。・購入時：申込手数料がかかるファンドがあります。・運用期間中：運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。・換金時：信託財産留保額がかかるファンドがあります。また、外貨に両替して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料とは別に為替手数料がかかります。●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●上記は当資料作成時点の制度に基づくものであり、今後、制度は変更となる場合がございます。

©ブルくん  **お問い合わせ先**  ©ヘアちゃん

東京あおば農業協同組合  
登録金融機関  
関東財務局長(登金)第309号



**積立**

# JAバンク 資産運用スタイル 診断シート

資産運用・資産形成をご検討するにあたり、ご自身の、運用スタイルを確認してみましょう

ご存じですか?

## 積立投資とNISA(つみたて投資枠)の違い



	積立投資		NISA (つみたて投資枠)
	課税口座 (一般口座または特定口座)	NISA (成長投資枠)	(つみたて投資枠)
利益への課税	20.315%の課税	非課税	非課税
投資できる金融商品	制限なし	上場株式・投資信託等 ①整理・監理銘柄 ②信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除外	国が定めた基準を満たした商品
積立金額	最低金額あり、上限なし	年間 240 万円	年間 120 万円
投資可能期間	制限なし	制限なし	制限なし
損益通算	できる	できない	できない
繰越控除	できる	できない	できない

中面へ

「NISA(つみたて投資枠)をはじめよう」

詳しくは JA 窓口、担当者へお尋ねください!



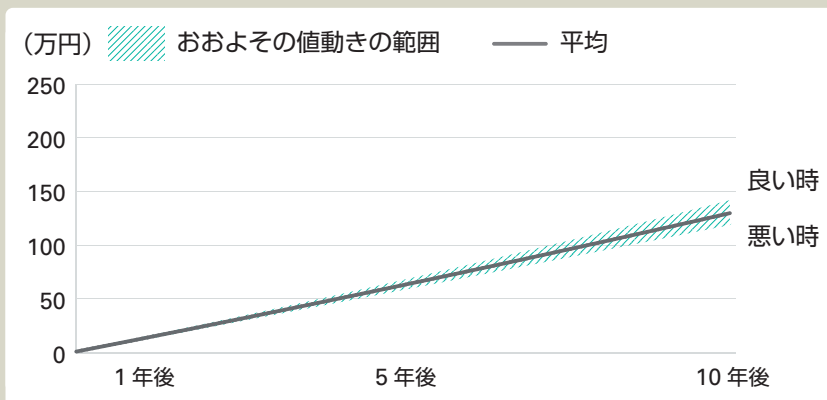


Q1

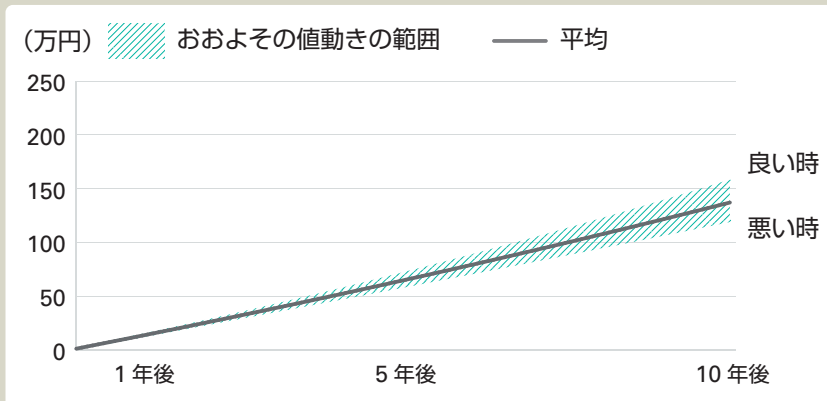
# どのような投資を実施したいですか？

(許容できるリターンの振れ幅)

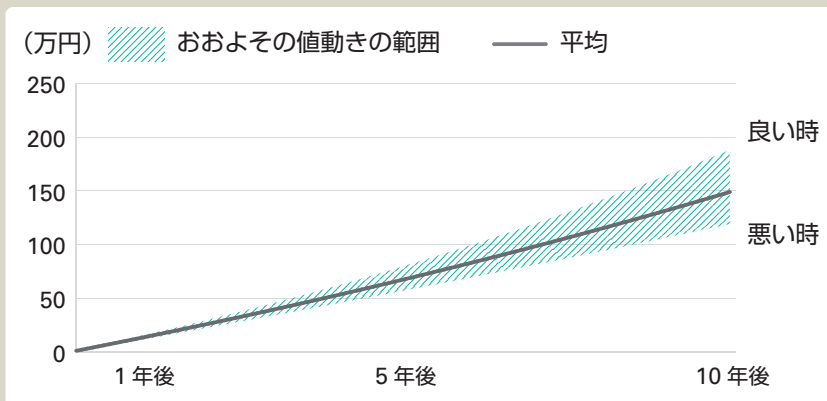
毎月1万円を10年間積立投資した場合の変動幅のイメージ  
(次の4つのタイプから好みのタイプをお選び下さい)



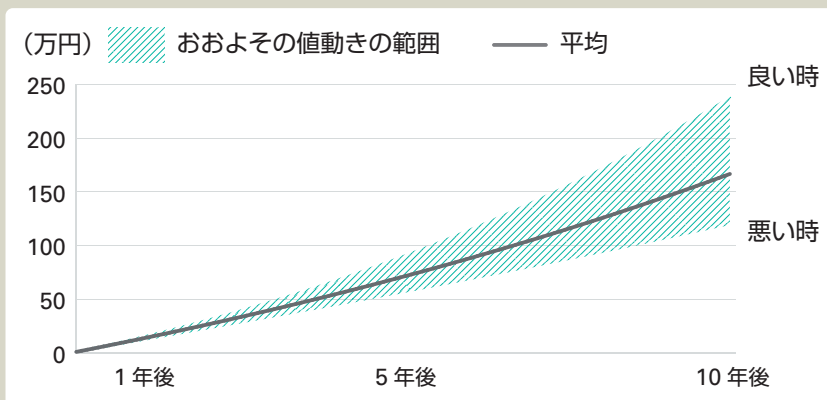
- (A) ● 値動きがほとんどない運用
- 収益性よりも安定性重視



- (B) ● 値動きが小さい運用
- どちらかと言えば収益性よりも安定性を優先した商品



- (C) ● 値動きが多少大きくても、その分利益が期待できる運用
- どちらかと言えば安定性よりも収益性を優先した商品

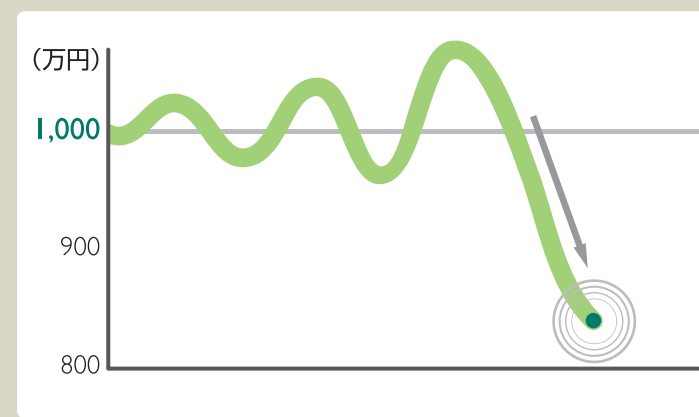


- (D) ● 値動きが大きくても、利益を狙える運用
- 安定性よりも収益性を重視

Q2

# 購入した商品の値段が大きく下がったら、どうしますか？

(相場変動時の運用方針)



- (E) ● 一部もしくは全額を換金(解約など)する
- (F) ● 積立を継続したまま様子を見る
- (G) ● 積立額を増額するあるいは、一時的に一括で買い付ける

Q3

# 投資にはリスクがつきものです。(リスクへの理解)

利益を追求すれば大きく損が出たり、安定性を重視しても元本を割ってしまう可能性があります。今回の投資ではどのくらいの損失を許容できますか？

- (H) ● 元本が割れる可能性があることは理解しているが、損失は最小限におさえたい
- (I) ● 元本が割れる可能性が高まっても、それなりの利益を追求したい
- (J) ● 大きく損が出てしまう可能性が高くても、大きな利益を追求したい

Q1

許容できるリターンの振れ幅

点

- (A) ほとんどなし ... 0点
- (B) 価格変動少 ... 2点
- (C) ある程度許容 ... 5点
- (D) 値上がり期待 ... 6点

Q2

相場変動時の運用方針

点

- (E) 解約 ... 0点
- (F) 様子見 ... 2点
- (G) 追加投資 ... 4点

Q3

リスクへの理解

点

- (H) 損失は最小限 ... 0点
- (I) それなりの利益 ... 4点
- (J) 大きな利益 ... 6点

合計点

点